

投資事業評価調書（新規）

部課室名	漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 小野 順三 (菅野 晴行)	内線	4172 (4179)
------	-------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間	総事業費	
		漁港漁村活性化対策事業	阿閉漁港	約2億円	

所在地			着工予定年	完成予定年
加古郡播磨町本荘2丁目			H14年度	H14年度

事業の目的	事業内容
<p>漁港区域内に放置されているプレジャーボートの収容施設と駐車場を整備することにより、円滑な漁業活動を支援し、併せて健全な海洋性レクリエーションの振興を図ることを目的とする。 事業主体：播磨町</p>	<p>係留施設 309 m²・・・213百万円 (収容隻数：94隻) 負担割合 国 5/10 町 5/10 駐車場 1,400 m²・・・10百万円 (収容台数：42台) 負担割合 国 5/10 町 5/10</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>阿閉漁港は、兵庫県南部のほぼ中央部に位置し、瀬戸内海屈指の好漁場である播磨灘に近く、ワカメの採取とともにタコ・アナゴの一本釣り等が主な漁業として営まれている。 好漁場が近くにあることから、近年海洋性レクリエーションが盛んになり、当漁港においては、特に喜瀬川の漁港区域内にプレジャーボートなどの放置艇が増え、河口水域での輻輳や漁港用地への不法駐車等、たびたび漁業者とのトラブルが発生している。 このため、漁業活動に支障とならない漁港内の水域を利用して、プレジャーボートの係留施設と利用者の駐車場を整備することにより、円滑な漁業活動を支援するとともに、健全な海洋性レクリエーションの振興、漁港の環境美化や漁村の活性化を図ることが求められている。</p>
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・効率性	<p>放置艇の適正な収容施設を設置することにより、利用者の意識の高揚が図られ、漁業者とのトラブルが解消される他、漁港内の施設利用上のマナー向上による適正な漁港管理が図られる。 播磨町ウォーターフロント整備基本計画（平成12年3月）の一翼を担い、漁業と海洋性レクリエーションの共存、共栄が図られるとともに新たな海の文化の創造に寄与する。投資効率は1.47である。</p> <p>港湾事業（放置小型艇収容緊急整備事業：ポートパーク事業）との連携により周辺公共水域の放置艇の収容が効率的にできる。また、放置禁止区域の設定などの規制を強化することにより、周辺環境の保全が図られ、抜本的な放置艇対策が可能となる。</p>
(3)環境適合性	<p>漁港区域内の環境美化及び景観向上が図られるとともに、周辺公共水域の環境や景観の改善が促進される。</p>
(4)優先性	<p>放置艇対策は、県の重要課題であり早期推進が必要である。 また、漁港法の改正による放置艇禁止区域の設定等、規制措置の早期実施のため、プレジャーボートの収容施設の整備を促進する必要がある。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------